



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年
11月

2022年11月30日

Vol
166

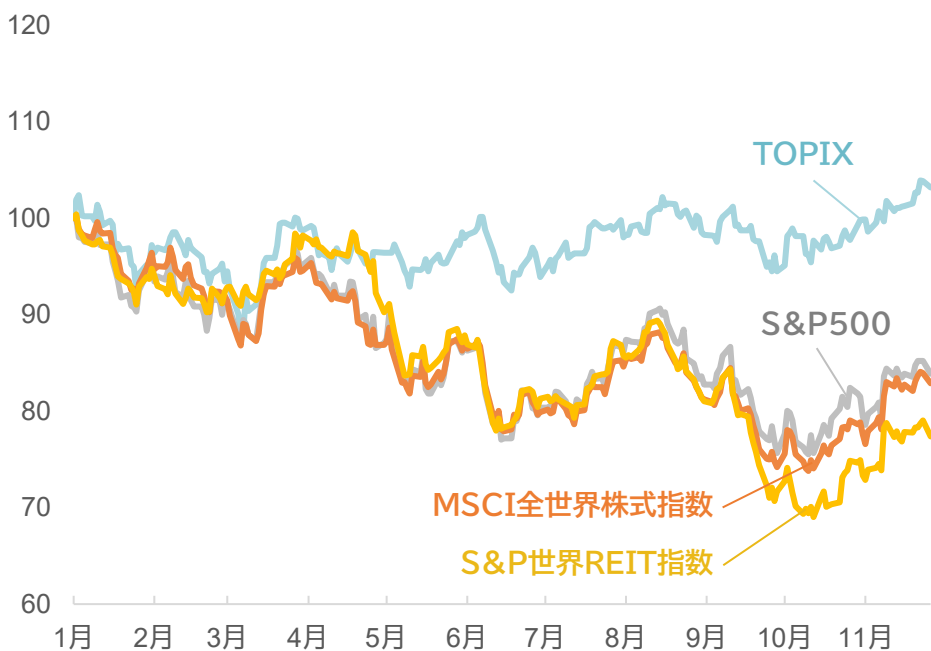
保有する投資信託に対する前向きアクション、「買い増し」

米国の金利上昇やロシアによるウクライナ侵攻などを受けて、年初より軟調に推移してきた主要国の金融市場。まだまだ予断は許さないものの、足元では徐々に落ち着きを取り戻し始めているようです。

コールセンターにも、「購入したときよりも基準価額が下落してしまった投資信託の買い増しを検討している」といった前向きなご相談が増えています。

そこで今回は、保有する投資信託に対する前向きなアクションである「買い増し」について、改めて整理しておきたいと思います。

■主要指数の推移(2022年1月3日～2022年11月28日、日次)



※起点を100として指数化しています ※海外指数は米ドルベース、株式およびREIT指数はすべて配当込み ※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



コールセンターからの、小さなよみもの

2022年
11月

アクションは、ホールド(継続保有)・売却・買い増しの3つ

保有する投資信託に対して、取ることができるアクションは、ホールド(継続保有)・売却・買い増しの3つです。当初の目的(何に期待し投資したのか)を思い出し、今でも変わらぬ期待を持てるのであれば、買い増しを検討するのも方法のひとつといえます。とくに、購入時よりも低い基準価額で買い増した場合、「平均単価」が下がるため、基準価額が上昇した際の元本回復が早まることが期待できます。

■同額を買い増す場合の平均単価のシミュレーション

(単位:円)

		新規の買い増し水準								
		18,000	16,000	14,000	12,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000
既存の買い付け水準	40,000	24,828	22,857	20,741	18,462	13,333	11,915	10,435	8,889	7,273
	35,000	23,774	21,961	20,000	17,872	13,023	11,667	10,244	8,750	7,179
	30,000	22,500	20,870	19,091	17,143	12,632	11,351	10,000	8,571	7,059
	25,000	20,930	19,512	17,949	16,216	12,121	10,938	9,677	8,333	6,897
	20,000	18,947	17,778	16,471	15,000	11,429	10,370	9,231	8,000	6,667
	16,000	16,941	16,000	14,933	13,714	10,667	9,739	8,727	7,619	6,400
	15,000	16,364	15,484	14,483	13,333	10,435	9,545	8,571	7,500	6,316
	14,000	15,750	14,933	14,000	12,923	10,182	9,333	8,400	7,368	6,222
	13,000	15,097	14,345	13,481	12,480	9,905	9,100	8,211	7,222	6,118
	12,000	14,400	13,714	12,923	12,000	9,600	8,842	8,000	7,059	6,000
	11,000	13,655	13,037	12,320	11,478	9,263	8,556	7,765	6,875	5,867
	10,000	12,857	12,308	11,667	10,909	8,889	8,235	7,500	6,667	5,714
	9,000	12,000	11,520	10,957	10,286	8,471	7,875	7,200	6,429	5,538
	8,000	11,077	10,667	10,182	9,600	8,000	7,467	6,857	6,154	5,333
	7,000	10,080	9,739	9,333	8,842	7,467	7,000	6,462	5,833	5,091

1. 購入時の基準価額を「既存の買い付け水準(タテ)」から探します
2. 買い増しをする場合の基準価額を「新規の買い増し水準(ヨコ)」から探します
3. 両者がクロスするところが、同額を買い増した場合の平均単価の大まかな目安となります

※平均単価は、1万口あたりの平均取得価額です。※あくまでも簡便な計算による概算です。買付時の手数料等を考慮していません。※あくまでも平均単価取得価額の計算を示すものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。※現水準での買い増しを全ての方に推奨するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。





コールセンターからの、小さなよみもの



2022年
11月

買い増した分、取っているリスクが増えることも忘れない

投資信託は口数で買い付けるため、購入時よりも低い基準価額で同額を買うと、より多くの口数を取得できるので、単純に平均した場合と比べて「平均単価」は下がります。もちろん、その投資信託に投入する資金が2倍になるわけですから、リスクを取っているお金が2倍になることの妥当性を慎重に検証する必要があることはいうまでもありません。

妥当性を検証したうえで、それでもなお、その投資信託に対して、変わらず高い期待を持てるのであれば、下落した投資信託に対して取ることができる前向きなアクション、買い増しを検討する価値は充分にあるといえそうです。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00